

# 方程式の解き方 (2)

## いこう 移項

等式の一方の辺にある項を、符号を変えて他方の辺に移しても、等式は成り立つ。  
このことを**移項**という。

(例)  $x - 10 = 2$

$$x = 2 + 10$$

$$3x + 4 = 2x - 5$$

$$3x - 2x = -5 - 4$$

## 1 次方程式を解く手順

- ① 文字をふくむ項を左辺に、数の項を右辺に移行する。
- ② 右辺と左辺をそれぞれ計算して、 $ax = b$  という形にする。
- ③ 両辺を  $x$  の係数  $a$  でわり、 $x = (\text{数})$  の形にする。

【1】等式の性質を使って、次の方程式を解きなさい。

(1)  $x - 5 = -7$

$$x - 5 + 5 = -7 + 5$$

$$x = -2$$

(2)  $8 + x = 3$

$$8 + x - 8 = 3 - 8$$

$$x = -5$$

(3)  $4x = 28$

$$4x \div 4 = 28 \div 4$$

$$x = 7$$

(4)  $\frac{1}{9}x = 2$

$$\frac{1}{9}x \times 9 = 2 \times 9$$

$$x = 18$$

【2】移項の考え方をを使って、次の方程式を解きなさい。

(1)  $x + 4 = -5$

$$x = -5 - 4$$

$$x = -9$$

(2)  $-3x + 4 = -8$

$$-3x = -8 - 4$$

$$-3x = -12$$

$$x = 4$$

(3)  $6x = 2x - 12$

$$6x - 2x = -12$$

$$4x = -12$$

$$x = -3$$

(4)  $2x - 7 = -5x$

$$2x + 5x = 7$$

$$7x = 7$$

$$x = 1$$